

2022年10月3日
社会福祉法人障友会

新型コロナウイルス感染症（第7波）のご報告

この夏は新型コロナウイルス感染症のいわゆる第7波が猛威を振るった夏となりました。オミクロン株の猛威により、堺市内でも連日2千人を超える新規感染者が続くなど大変な状況が続き、高齢者や障害者の各福祉施設でも多くの感染者が出るなどマスクでも多く取り上げられました。

障友会におきましても、8月と9月に相次いでわららか草部と堺みなみでクラスターが発生し、皆様に大変なご心配とご迷惑をおかけしました。

わららか草部のクラスターでは、8月4日に2名の方の感染から始まり、ご利用者16名、職員6名、関連して応援職員1名とグループホーム世話人2名が感染しました。また、堺みなみのクラスターではご利用者12名、職員1名が感染されました。ご家族の方も数名感染されました。大変申し訳なくお詫び申し上げる次第です。

このとき、わららか草部では8月5日から通所を自粛していただき、22日に通所を再開、また、堺みなみにおいては23日から31日まで通所自粛をお願いし、9月1日から再開させていただきました。また、数か所のグループホームでも感染者が出たために8月8日から21日までショートステイを休所し、陽性者対応に当たってきました。さらに、フレンズやくるみの樹におきましても感染者が出たために一時通所の自粛をお願いしました。

さらに、9月に入ると堺みなみとわららか草部で再び陽性者が増加したため、その都度PCR検査などを実施し結果が出るまでの間、通所の自粛をお願いいたしました。長期の自粛につきましては堺みなみで9月8日から、わららか草部で同13日から通所の自粛をお願いするとともに、12日には再度ショートステイを休所して陽性者対応してきました。わららか草部と堺みなみについては20日から再開、ショートステイについては9月26日から再開させていただいております。

施設内感染を防ぐためやむを得ないものの、たび重なる通所自粛やショートステイの休所について深くお詫び申し上げますとともに、ご利用者・ご家族の皆様には大変なご理解とご協力をいただき、改めてお礼を申し上げます。

一方、この間通常業務を離れて陽性者の対応にあたった職員は8月だけでも17人のほり、正職員のみならず時間給の非常勤職員まで動員をして対応せざるを得ませんでした。特に陽性者対応の場としたショートステイやグループホームでは3日ごとの24時間勤務をお願いし、勤務により自らも感染された職員もおりました。これら職員の方々には改めて感謝の意を表したいと思っております。

また9月21と26日には、ご利用者の4回目となるコロナワクチンの集団接種を実施しました。これからも、当法人として感染防止のためできる限りの対策を講じてまいります。ご利用者・ご家族の皆さまにおかれましても、日常生活上での安全確保に一層のご留意をいただき、今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【理事長 北田靖浩】